

～沼水が支えてくれる米づくり～

合同会社 滑川町谷津田米

経営体育成基盤整備事業「上福田地区・山田地区」

取組のポイント

- ①ほ場整備を契機に谷津田の保全と谷津田米の普及を目指し、谷津田米生産者組合を立ち上げ、合同会社に法人化。
- ②高品質な米作りによる滑川町産谷津田米のブランド化を実現。
- ③学校給食やふるさと納税の返礼品として出荷することで谷津田米のファンづくりに努めるなど、地域農業の振興に尽力。
- ④埼玉県特別栽培農産物やS-GAP認証取得による信頼性の確保。

取組の経緯と課題

- 地域にとって重要な谷津田の保全。
- 水源に限られる中、用排兼用の土水路のため用水供給が不安定。
- 小区画かつ湿田であるため大型機械の導入や規模拡大が困難。
- 昼夜の寒暖差が大きいなどの気候的特徴や環境的特徴はあるものの、ほ場条件が悪いためブランド化(品質の均一化)が困難。

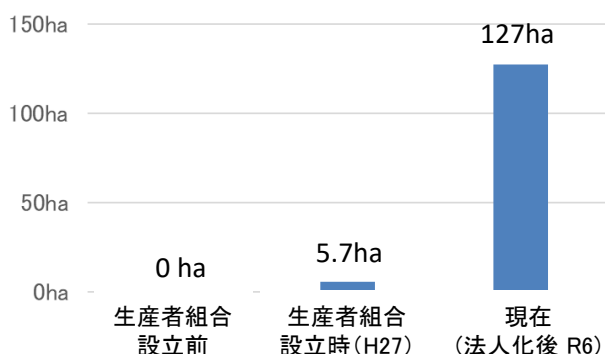
課題への対応

- ほ場整備により用排水路が整備され、限られた水を反復的かつ効果的に活用。ほ場毎の土壌分析も可能となり、施肥管理を徹底し、高品質で均一化した米の栽培を推進。
- 大型機械の導入や担い手への農地集積を推進(集積率90%)。
- ブランド化に向け、認定農業者9名で谷津田米生産者組合を立ち上げ(H27)、令和5年に法人化。
- 学校給食やふるさと納税返礼品等への出荷を通じ、谷津田米のファンづくりや谷津田の保全に向けた取組を推進。

取組の成果

- 谷津田の沼水を活用した高品質な米の生産。
- 施肥管理による品質向上と均一化により、滑川町産谷津田米としてブランド化。R5年産米においてもほぼ全量が1等米。
- 埼玉県特別栽培農産物やS-GAP認証取得によって信頼性を確保。学校給食やふるさと納税返礼品等に出荷し、喜ばれている。
- 水田農業の重要な担い手として「比企丘陵の天水(雨水)を利用した谷津沼農業システム」の日本農業遺産認定(R5. 1月)に貢献。

谷津田米生産面積



区画拡大されたほ場



法人の経営概要
代 表：島田 郁生
設 立 年：令和5年
農 家 数：12人
主要作物：水稻



埼玉県比企郡滑川町



滑川町産谷津田米



滑川町の谷津田と谷津沼

事業概要

地区名：上福田地区、山田地区
事業種：経営体育成基盤整備事業
関係市町：埼玉県比企郡滑川町
受益面積：上福田地区 28.2ha
山田地区 44.7ha

工 期：

上福田地区 平成16年度～23年度
山田地区 平成19年度～28年度
事業目的：区画整理、暗渠排水

主要工事：

地区	区画整理	用水路工	排水路工	道路工
上福田地区	28.5ha	5.33km	10.09km	3.26km
山田地区	44.7ha	6.46km	7.00km	7.69km